

はじめに

～ジェンダー平等を実現しよう～



市内の各所を歩いていると、見る場所や季節、時間によってさまざまな姿を見せる富士山に励まされることがあります。同じ音を持つ、“不二”ということばには、富士山を意味すると同時に、二つにみならず、つまり、対立し、分かれて見えるものも実は一つであるという意味や、二つとない、唯一無二という意味があるそうです。

“令和”という新しい時代を迎え、藤沢市では、2021年度（令和3年度）から2030年度（令和12年度）の向こう10年間を目標年次とする、「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」を策定いたしました。

新たなプランでは、SDGs（持続可能な開発目標）における目標の一つである「ジェンダー平等の実現」（ジェンダー＝社会的・文化的に形成された性別）を踏まえるとともに、次世代に向け、多様な生き方や考え方を認め合うまちづくり、誰もが生きやすい社会の実現をめざして、「共に生き、共に創ろう、未来につなぐ、ジェンダー平等のまち“ふじさわ”」を将来像として掲げております。

人は誰もが二つとない尊い存在です。そして私たちが暮らす社会において、多様性と包摂性への共感がこれまで以上に求められる中、「ジェンダー平等」ということばに馴染みのない方にこそ、ぜひ、このプランをお手に取っていただければ幸いです。必ずや、これは自分のことだ、あの人のことだと感じるとともに、新たな発見があり、その思いを誰かと共有することで豊かな輪が広がっていくものと思います。

結びに、今回のプラン策定にあたりまして、ご提言をいただきました「ふじさわ男女共同参画プラン推進協議会」委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様や関係機関・団体の皆様に心より感謝申し上げます。

2021年（令和3年）3月

藤沢市長

鈴木恒夫